

(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名	県営農村地域防災減災(防災ダムの整備)		路河川名等	-			
事業毎の通番	1	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	香坂ダム(こうさかだむ)		
事業目的	香坂ダムは、昭和49年に県営防災ダム事業により造成された洪水調節用ダムである。建設から40年以上経過しているため、放流施設や洪水吐等の施設において、コンクリート表面の剥離欠損による変状劣化、ゲートの操作不能等が生じている。また、現行の耐震基準を満たさない施設もあり、このままでは、豪雨・地震時に、適切に機能を発揮できないおそれがある。このため、ダム施設の長寿命化及び耐震化を行うことにより、洪水調節機能を確保し、地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることを目的とする。						
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)	事業実施の根拠法令等	土地改良法、河川法				
関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県強靱化計画、長野県地域防災計画、佐久市地域防災計画						
保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象：農地120ha、農業用水路8路線、人家164戸、公共施設(市役所出張所、県道) 受益対象：河川からのかんがい農地240ha						
着手年度	平成30年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.1	国庫	その他	県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	放流設備補修 一式(放流塔 N=1箇所、ゲート N=4門) 余水吐補修 N=1箇所 管理施設補修 一式(管理棟 N=1棟、管理機器 一式)	1,217,000	669,350	73,020	427,000	47,630	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	災害防止効果(豪雨時の洪水による農地、農業用施設、農作物、人家、公共施設等への被害を防止できる。)					
	間接的効果(定量的・定性的)	優良な農地が保全されるため、農業経営が安定するとともに、良好な農村景観が保全される。					
評価の視点	必要性	○保全対象の人家戸数：164戸 ○保全対象の公共施設：市役所出張所、県道 ○保全対象の農地、農業用施設：農地 120ha、受益 112haの農業用水路 ○保全対象の避難場所等：避難場所(1次避難場所：市役所出張所)				評価	A
	重要性	○施設依存度：依存度 大(洪水調節施設は、本ダムのみ) ○湛水想定被害：湛水被害農地面積 120ha ○地域防災計画上の位置付け：県及び佐久市地域防災計画に位置付け				評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C)：1.1 ○事業期間：6年間(H30~H35) ○工法等の比較検討：機能保全計画を策定し、ライフサイクルコストを算出				評価	B
	緊急性	○施設の状況：耐用年数経過等により、ゲートが操作不能となっており、管理設備の部品が製造中止 現行の耐震基準を満たさない施設あり ○河川管理者からの改善要求等：改善要求等は出されていない。 ○応急対策の実施状況：佐久市が機器の補修等を実施				評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：平成26年7月以降、関係者を中心に事業説明会を実施 ○地域の取り組み：平成26年3月に地域から要望が出されており、事業化への地域の協力がある。 ○地域の合意形成：香坂ダム対策検討会を開催しており、地域と合意形成が図られている。 ○住民との協働：佐久市からの委託により、毎週1回の目視点検を住民が実施している。				評価	B
所管課意見	災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な施設の長寿命化及び耐震化が必要である。			採択状況	○	総合評価	A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。						

【位置図、平面図、構造図等】

位置図

平面図

ダム全景

<ダム諸元>
 型式 中央コア型
 ロックフィルダム
 堤高 38.5m
 堤長 184.0m
 総貯水容量 105万m³
 洪水調節容量 87万m³

事業概要説明図表

コンクリート劣化状況

〔放流塔〕

ひび割れ発生
凍害によるひび割れ
ジャンカ状態
鉄筋の露出

〔洪水吐〕

凍害によるひび割れ

対策内容【放流塔】

コンクリート躯体の補強
放流ゲート補修
土砂吐ゲート更新

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本ダムは、建設から40年以上経過しており、コンクリートの劣化の進行や土砂吐ゲートの操作不能等が課題となっている。また、現行の耐震基準を満たさない施設や部品が製造中止となっている設備も存在する。香坂ダム対策検討会(県、市、地元区)において、対策についての検討を行っており、その中で、補強・更新の事業化を決定した。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本ダムは、建設後佐久市が維持管理を実施してきたが、施設の老朽化による機能不全や近年の異常気象での能力不足が懸念されており、平成26年3月に地域から施設の改修要望が出されている。それ以降、香坂ダム対策検討会を設け、課題の抽出と対策の検討を行っている。
③事業説明等の経緯	平成26年7月以降、地元関係者への説明会を実施しており、ダムの機能診断、施設の補強・更新について、了承されている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県強靱化計画、長野県地域防災計画等に基づき、ダムの長寿命化及び耐震化を行うことで、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本ダムの下流域には、多数の住宅や市役所出張所等の公共施設が存在するため、決壊時の被害は甚大である。本ダムの機能が適切に発揮されることにより、洪水による農地被害が防止できるため、現在の自然環境、農村景観が保全される。
⑥地域活性化への影響と配慮	災害が未然に防止されることにより、優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。また、良好な農村景観が保全される。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 15' 54" 96 東経:E 138° 32' 54" 87
-------------	---------------------------------------------